

北澤 佑子 先生の「南極授業」

昨年11月から南極に向かわれた北澤佑子先生の中継授業がついに実施されました。当日の1月27日(月)は本校の体育館もなかなか冷え込んでいましたが、守谷高校生はもちろん、近隣の小中学校の先生方やご来賓の皆様も、南極とつながることにワクワクしていました。



南極は現在“夏”ということで、地面が見えることに驚きました。

スムーズな中継と、あまりにいつも通りの北澤先生に、本当に遠い南極にいるのかしら…?と思うほどです。



でも見渡す限りの氷の大地をみれば、やはりどよめきが起こります。

「反応があると嬉しいです〜」



生き物が大好きな北澤先生、南極に行ってもペット?の飼育です。氷の下からお魚を捕まえて、見せてくれました。



「今日で飼育22日目です。かわいい」

南極の氷を海水に浮かべてみました。耳をそばだてると微かに“プチプチ”とガスが抜ける音がするのですが、



生徒「…以外と地味ですね」
北澤先生「OK! OK!」





生徒からの質問にも専門家の方を交えて応じてくださいましたよ。



南極は厳寒の地ですが、クラゲやプランクトンなどを実際に見せてもらって、その豊かさが理解できました。



北澤先生は命と向き合う南極に来て、改めて「支えあって過ごす人と人とのつながり」を感じたとおっしゃいました。日本にいと忘れがちですが、私たちは決して一人で生きているわけではないのですね。

そんな北澤先生がエンドロールの後に、
卒業を控えた3年生に向けてエールを送ってくれました。みんな大喜び (●>∪<●)
「フレ、フレ！も・り・こ〜っ！」

フレフレ、南極の皆さん！フレフレ、北澤先生！

